

## 週日の説教

金 大烈 神父 2008年7月24日(火)

### 《たとえとしての生き方をしましょう》

みなさま、聞こえますか？「聞こえる」というのは、自分の意思とは関係なく、仕方なく耳に入ってくることです。自分から「聞いている」かどうか、とても大事なことです。

見えていますか？私たちは、「見ている」と言いながらも実際には見ていないことがよくあると思います。「聞いている」といいながらも、無意識的に聞き流そうとする心、逃げようとする心があります。

人間は、本能的に聞きたいことは誰も何も言わなくても耳を傾けられます。見たいものは誰が防ごうとしても何とか見出すように目が行きます。それは当然なことです。逆に自分にとって厳しい言葉、責められる言葉や反省をさせるような言葉を聞くのはみんな苦手です。当たり前かもしれませんが、しかし、今日のこの福音を通して、他のことは聞かなくてもみ言葉は聞こうとすることが何よりも必要ではないかと思えます。実際、み言葉をまじめに聞こうとすると、まず現れる心の変化は「辛さ」です。十分にやって来たと思ったのに、み言葉を聞いてみたら「全然違う」と言う自分を責める気持ちになります。

しかし、それを乗り越えなくてはまことのイエス様のみ言葉を受け入れることはできません。「よい薬は苦い」です。苦いけれど体によいということです。ですから、褒めることも福音的かもしれませんが、たまには叱ることも(叱る立場は辛いのですが・・・)その人のために薬になるだろうと思い、自分の人柄と合わない姿を見せる必要もあるかもしれません。特に、近頃の子ども達に対しては、そう思います。親が何も言わない。だから甘えん坊になってしまい、自分勝手にわがままで、相手のことを全く考えずに利己主義的な姿を見せるようになってしまいました。特定の家の子どもではなくてあらゆる家庭の子ども達がそうです。そういう時代になってしまったのかもしれませんが。

それはたぶん親の責任だと思えます。親が言うべきことを言わない、そして子ども達も聞くべきことを聞かないから。いろいろなことがあわさって、こういう時代になってしまったのかもしれませんが。しかし、「遅れたと思う時が一番早い時だ」と言われます。そういう足りないところを感じたら、何かする必要があるのではないのでしょうか。

今日は、少し神学的な用語を使ってみます。みなさま、この言葉はどういう意味か考えてみてください。"たとえとしての生き方"です。今日、イエス様はこのようにおっしゃいました。「ご自分を知らない人にはたとえを用いて話された」と。みなさまは、イエス様を知っていますよね。そうしたらみなさまの生き方自体が、"たとえ"のような生き方にならないといけないのです。

信者ではない人が、私たちの生き方を見て、イエス様の御心を推し量る。そうなるように私たちは"たとえ"のような生き方をしなければなりません。私自身が、みなさま自身が、イエス様からだされた一つの"たとえ"にならなければなりません。私を見て地獄を考え、私を見て天国を考え、私を見て幸せは何か、不幸は何か、正しい道は何か、よくない道は何か分かるように、私たちがはっきり見せなくてはならないのです。難しいことですよね。

人は、許しの秘跡を求めて来る時に反省をしますね。その時、私自身は"たとえ"として上手に対応できたか、それをいつも振り返ります。私を見て、天国ではなく地獄を感じ、イエス様のみ言葉ではなくて悪魔の言葉を感じてしまったら私は大失敗です。しかしこれは、司祭だけのことではなく、信者である全ての人々が求めなければならない生き方でしょう。ですから、みなさまの中にあらゆる神様のみ言葉が現れ、隠されているイエス様の神秘が自然に見られるような、そういう生き方を心がけないといけないと思います。

みなさまは"たとえ"です。"たとえ"には責任が必ずついてきます。私たちの人生には、死ぬま

で優しいことは一つもないのです。いつも何かしなければなりません。良い「たとえ」となれるように恵みを求め、祈りましょう。

昨日、大きい地震が起こりましたね。この頃、頻繁に地震が起こっています。私は5年前に日本に来ましたが、今年のように一ヶ月の間に何度も、しかも広範囲に地震が起きたのは初めてです。地球が傷んでいるのは確かです。地球が傷んだ原因の一つは、自然の破壊だと言われています。そして自然の破壊は、人間が人間らしく生きること、倫理性を失った結果のよって起こっているものです。人間の利益や欲によって開発が行われ、いろいろなものが壊されているのは確かです。しかし、もっと深く考えてみると、道徳性を失った社会のためにこういうことが起こっているのです。

聖書の中には、この世が終わる時には、いろいろな現象が起こる、と言われています。その中の一つが自然破壊。そして人間が人間性を失うこと、人が人を殺すこと、物質的なものが精神的なものよりはるかに価値を持ってしまうこと、などいろいろ言われています。そして今の世の中を見ると、まさに人々はそのような生き方をしています。だから精神的に悩んでいる人がたくさんいます。そして、その悩める人を導く人もほとんどいません。人の前に立ってよいことを言う人たちも、よく見るとみんな嘘つきです。そのような状況の中で、信者である私たちがもっと「たとえ」のような生き方をしないといけません。

もし私によって、一人でもイエス様のみ言葉と接し、喜びや大切さを感じ、それによって救われたならばなんという幸せでしょうか？

私たちは、神様から与えられている使命をもっと意識することが必要ではないかと思います。

ありがとうございました。